



# 鶴舞マイハート便り

発行元：千葉県循環器病センター 地域医療連携室（直）0436-50-6501 F A X 0436-50-6503  
 〒290-0512 千葉県市原市鶴舞575 0436-88-3111(代表) F A X 0436-88-3032  
 URL <http://www.chibakenritsubyouin.jp/junkan/index.html>

## 循環器病センター5つの運営指標

- 良質で模範的な医療の提供を目指します。
- 温かさ・思いやりの心で県民の皆様がいつでも安心して受診できる施設を目指します。
- 常に高度で先進的な医療を提供するため、職員一人ひとりが技術研鑽に努めます。
- 近隣の病院・診療所と密接な連携をはかり、地域全体の医療の向上を目指します。
- 透明性のある医療を目指し、インフォームドコンセント（十分な説明・同意）に努めます。

## ＋ 災害派遣医療チーム（DMAT）をご存知ですか？ ＋



災害時受入れ訓練の様子

DMATとは、「災害の急性期（概ね48時間以内）に活動できる機動性を持った、専門的な研修・訓練を受けた医療チーム」と定義され、災害派遣医療チーム：Disaster Medical Assistance Teamの頭文字をとって「DMAT」と呼ばれます。負傷者が多数発生する災害現場では、DMATが消防や警察、自衛隊などの機関と連携しながら救助活動と並行して医療活動を行います。日本では703チーム、約4300名の隊員が登録されています（平成22年3月末現在）。

## ＋ 循環器病センターDMAT ＋



当センターも災害拠点病院としてDMATを構成し、大規模な災害や地域内災害・事故等に備えています。

鶴舞看護学校や市原市消防団にも協力していただいて、本番さながらの訓練も行っていますので、予測不能な災害の際もご安心ください！！循環器病センターDMATが在る限り！！！！





**循環器病センターDMAT代表！！**  
**心臓血管外科 浅野Drへ緊急インタビュー要請！！！！**



**①当センターのDMATは何名体制となっていますか？**

医師4名、看護師7名、ME・薬剤師・放射線技師・事務あわせて7名の総勢18名体制です。

**②当センターのDMATチームメンバー構成基準とは？また、特別な基準は設けているのですか？**

日本DMATの研修を受けているか、院内での研修を受けた方たちです。ただし、災害医療・救急医療に興味があり、DMATになりたいという方には広く参加を募っています。

**③当センターDMATチームの具体的な活動、また、担当医としての活動を教えてください。**

災害時に現地に行って医療活動が行えるよう、また遠隔地から傷病者の受け入れができるよう、県内で訓練を行っており、できるかぎり参加しています。院内の災害時受け入れ訓練・火災訓練時には、職員の指導や評価などを行います。そのほか、より良い訓練方法についての検討や、器材の準備・維持・備蓄の確保なども行っています。



**④地域の消防機関との連携はどのようにしていますか？**

院内や県内合同の訓練時に、消防機関との連携を特に注意してとるようにしています。また、県でのDMAT連絡会議などでもお互いの役割を十分理解し、災害時の連絡方法を確認しています。

**⑤実際に災害現場への派遣要請の依頼はありましたか？**

派遣要請はまだありませんが、災害時にメールで何度か待機要請がかかったことはあります。県ではもう少し小規模な災害時もDMATが出動できるよう、条例を改正するという動きも出てきています。

**⑥年間通して訓練・研修等はどのくらいの頻度で行っていますか？**

1カ月ごとに勉強会を行っています。職員への啓蒙の意味もありますので、多くの方に積極的に参加していただけるよう呼びかけを行っていきたくです。実地訓練は院内の火災訓練と災害時受け入れ訓練、及び県内での大規模な訓練が年に1～2回です。

**⑦DMATチームの担当医としての心構えを教えてください。**

災害の発生に備えて、常にテレビなどのメディアを気にするようにしています。また、当センターには、遠くから通勤している方も多く、夜間や休日に災害が発生した場合には、道が寸断され、発災時のメンバーだけで院内の患者さんを守らないといけないという状況も考えられます。そのため、普段から少人数で病院を守るにはどうすればいいかを考えておく必要があると思います。

**⑧今後、どのようなチームを目指していきたいですか？**

どちらかといえば、出動して現場で治療するより、受け入れで他の病院や消防・自衛隊などと連携して活動をする可能性の方が高いと思います。また整形外科がないので、他の医療機関への搬送も多くなると思われ、今の受け入れ訓練を土台に、さらに他施設との連携ができるDMATになればと思います。





## ナースコールシステムを更新しました

当センターでは、昨年11月より新たなナースコールシステムの運用を開始しました。新たなシステムは、電子カルテシステムと連動しており、看護情報の入力・蓄積によって、スタッフ間で患者さんのきめ細かな情報を共有することが可能になりました。また、病室前に設置してある液晶廊下灯は親機と連動しており、患者さんの個人情報を表示しないよう設定が出来るなど、患者さんのプライバシーにも配慮した設計になっています。



### ▲PC用親機（左）とタッチパネルモニター（右）

患者さんから呼び出しがあるとその情報がモニターに大きく表示される工夫がなされています。



### ▲ハンディナース子機

子機を持つことによって、呼び出しに対して今までより迅速に対応できるようになりました。



### ▲液晶廊下灯

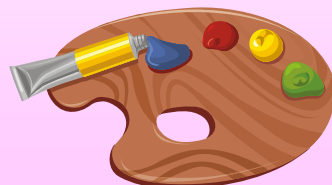
右の写真のように、患者さんの個人情報を表示しないよう設定することができます。



## ギャラリー「二つ返事」

- 3月 ものづくりの館「温々悠々」陶芸展
- 4月 藤本 幸一 スケッチ画展
- 5月 紅梅の会 書道展

2階ギャラリーでは月替わりで様々な展示を行っています。ぜひ、お立ち寄りください。



## 看護の日

毎年5月12日は「看護の日」です。当センターでもこれに合わせてイベントを開催いたします。ぜひご参加ください。

開催日：平成23年5月21日（土）  
場 所：センター1Fエントランスほか  
内 容：後日、県民だよりやHP等でお知らせする予定です。

※事前申込み不要・参加費無料です。



## ～院内行事～

### 笑顔研修 12月3日(金)

講師：株式会社ZAC

南城 ひかり 先生

職員の接遇力向上を図るため、元宝塚歌劇団の南城先生をお招きして研修を行いました。医療スタッフ役と患者さん役に分かれて行ったロールプレイングは、職員皆が笑顔で行い、明るい雰囲気印象的な研修会となりました。



## ～みなさまのご参加ありがとうございました～



### ★クリスマス会 12月17日(金)★

昨年度は新型インフルエンザの全国的な流行により、実施できなかったクリスマス会ですが、今年度は多くの方々のご協力により無事実施することができました。当日は、鶴舞小学校・鶴舞看護専門学校のみなさんによる歌・ダンス・劇、センター職員による歌・ダンスと盛りだくさんの内容でした。また、多くのボランティアの方々にご協力していただき、会を円滑に進める事ができました。

### ★市民公開講座 1月22日(土)★

今回は、循環器科の宮崎診療部長が狭心症・心筋梗塞の予防と治療について、放射線科の今関専門員が最新のCT装置について、それぞれ講演を行いました。

当日は100名以上の方にご参加いただきまして、地域の皆さまの健康に対する関心の高さを再確認しました。次回からはもっと多くの方々に参加できるよう工夫したいと考えています。ぜひご参加ください。



## 病院ボランティア 募集中!

～あなたの優しい心で患者さんをサポートしてみませんか～

ボランティア活動は、経験や特別な資格などは必要なく、ご自身の無理のない範囲で活動していただけます。

患者さんが安心して当センターでの診療を受けられるようお手伝いいただける方、ぜひご応募ください。

(活動内容)

- ★小児患者さんの遊び相手
  - ★入院患者さんの話し相手
  - ★入院患者さんの車椅子での散歩補助
  - ★外来患者さんの受付案内
  - ★センター内の庭花の手入れ、水やり など
- ※応募方法等詳しくは、当センターのホームページをご覧ください。か、下記までお問い合わせください。



【担当】

ボランティア事務局(事務局医事経営課)

佐々木・木内 TEL:0436(88)3111

## パンフラワー飾りました

～ぜひご覧ください～

センター利用者の方からパンフラワー(粘土で作った造花)を寄贈していただきました。現在1Fエントランスホールに展示していますので、来院の際にご覧ください。

